

日本財団＋笹川平和財団



- 日本財団 1.39km - 宮中三殿 - 笹川平和財団 1.39km
- - ホテルニューオータニ 1.39km

公益財団法人日本財団

競艇の収益を活用する受け皿組織として 1962 年（昭和 37 年）に日本船舶振興会を創設。公営競技のひとつである競艇の収益金をもとに、海洋船舶関連事業の支援や公益・福祉事業、国際協力事業を主に行なっている公益財団法人。

初代会長笹川良一没後の 2011 年 3 月に日本財団「The Nippon Foundation」に名称変更された。総資産額は 3000 億円近くにとのぼり、日本最大規模の財団であるが、事業費の多くを笹川平和財団や東京財団など系列の公益法人等への助成に充てているため、笹川平和財団の方が日本最大の公益財団法人を標榜している。東京都港区赤坂一丁目 2 番 2 号

公益財団法人笹川平和財団

財団法人日本船舶振興会（現日本財団）及びモーターボート競走業界の支援により、1986 年 9 月 1 日に設立された。2015 年 4 月 1 日、一般財団法人シップ・アンド・オーシャン財団（通称：海洋政策研究財団）と合併し、総資産額およそ 1,426 億円の日本最大規模の公益財団法人となった。合併後の新財団の正式名称は引き続き「公益財団法人笹川平和財団」を使用し、海洋政策研究財団の権利義務すべてを承継している。理事長は元国際エネルギー機関（IEA）事務局長の田中伸男。

個々の問題領域からアプローチを行う一般事業及び米国との交流事業に加えて、笹川太平洋島嶼国基金、笹川日中友好基金、笹川中東イスラム基金、笹川汎アジア基金の 4 つの地域に限定した特定基金を設置している。また、海洋政策財団の事業を継承し、海洋政策の研究、政策提言、情報発信等を行う海

洋政策研究所及び合併後のシナジーにより新たな領域に取り組む新領域開拓基金を設置している。各国の非営利セクターや研究機関、大学などとの協働により独自のプログラムを推進している。

1986年（昭和61年）笹川平和財団設立。初代会長に田淵節也氏が就任。1987年（昭和62年）名誉会長に笹川良一氏が就任。東京都港区虎ノ門1丁目15-16 笹川平和財団ビル

ホテルニューオータニ

1964年東京オリンピックを2年後に控えた1962年（昭和37年）、オリンピック委員会と政府は外国人来訪を約3万人と予想して受入れ施設の確保を計画し財界に打診すると、大谷重工業社長の菅原米太郎が受諾してホテル建設に着手する。場所は東京都千代田区紀尾井町で、古くから大名屋敷や旧伏見宮邸跡地であった約2万坪の敷地で、菅原氏の私有地となっていた。大成建設の施工で1963年（昭和38年）4月1日に着工した。ただ着工時に設計が全て終わっていたわけではなく、設計図を書きながら建設していくという突貫工事が行われた。この結果、1964年（昭和39年）8月31日に竣工を迎えた。そして翌9月1日に現在のザ・メインを開業する。東京都千代田区紀尾井町4-1

備考

戦後、ファシスト、右翼、また政財界の黒幕として扱われ、マスメディアからは「右翼のドン」と呼ばれた菅原良一のしくみ。伊勢神宮や全国から宮中三殿に集まった気を引き利用している。